

## 牧野植物園

(環境共生課)

## ○概要

牧野植物園は、昭和33年に、高知県が生んだ植物学者・牧野富太郎博士の業績を顕彰する施設として高知市五台山に開園し、平成11年11月には「牧野富太郎記念館」が開館、園地面積を拡張しリニューアルオープンしました(第一期整備事業)。

植物園地は17.8ha(うち6haを供用)、主要施設として、牧野富太郎記念館(本館、展示館)、回廊、温室、資源植物研究センター、土佐寒蘭センター、長江圃場、レストラン、ショップ、カフェなどがあります。

また、平成22年4月24日には新温室がオープンしました。



牧野富太郎記念館・展示館(芝生広場より望む)



牧野植物園の南園にある新温室

## ○運営主体

公益財団法人高知県牧野記念財団を指定管理者に指定(H23.4.1~H28.3.31)

## ○主な植物園活動実績等

牧野植物園では、植物に親しみながら、植物の大切さや自然環境の保護保全について改めて考えていただく機会を提供するため、各種教室や企画関連イベント、展示活動等を行っています。

## 1 植物教室

植物に関心や親しみを持ってもらうため、園内の植栽を中心に季節のテーマに沿って実際の植物を観察する教室です。

■「草花を描く」「野点と秋の野の花観察会」「ふれあい植物観察会」など

## 2 子ども自然体験教室

いろいろな体験を通して子どもたちに五感で自然を感じてもらおうことを目指して実施しています。

■「樟脳(しょうのう)ってなあに?」「自分でお茶を作ってみよう」「春の七草をさがそう」「植物の香りを楽しもう」など

## 3 体験教室

植物を素材にした「ものづくり」を通じて、暮らしの中で植物を身近に感じ、生活を豊かにする植物の魅力を感じてもらえる教室です。

■「アロマテラピー教室」「ガーデニング講座」「押花教室」など

## 4 企画展関連イベントなど

植物に興味・関心を抱き、植物園に足を運んでもらうきっかけづくりとして、植物や牧野富太郎博士に関連した講演、生きた植物の展示や教室、イベントを開催しています。

■「夜の植物園」「菊花展」「クリスマスウィーク」「ラン展」など

## 5 その他

来園者への展示解説・植物解説、園外への講師派遣、小学生向け冊子「まきのポケット」の県内小学5年生への無料配布などを行っています。

※平成23年度植物園入園者数:183,913人

## ○牧野富太郎生誕150年記念行事の開催

・記念展「植物学者・牧野富太郎の足跡と今」

牧野富太郎の業績を特徴的仕事である記載学と教育普及活動の面から振り返り、後世に与えた影響を様々な資料で紹介する特別展示を国立科学博物館と共催で、高知・東京の2会場で開催しました。



「植物学者・牧野富太郎の足跡と今」高知会場

・「五台山花絵巻 参の巻 ~春の彩り・花皿鉢~」  
牧野植物園の春を日本の色彩と調和をテーマ

に「花皿鉢」に盛りつけました。今年は牧野富太郎生誕 150 年を記念した「牧野富太郎生誕 150 年記念」花皿鉢も登場しました。



「牧野富太郎生誕 150 年記念」花皿鉢

#### ○研究型植物園として

牧野植物園では、平成 15 年度から研究型植物園への移行を目指して第二期整備事業に取り組んできました。

この事業は、薬用や花卉、食用等の分野で人間の生活に利用される植物（有用植物）の研究、栽培、利用技術の開発を通じて得られた利益を高知県に還元させるとともに、県の産業振興にも役立つようとするものです。

中山間地域で栽培可能とされる漢方薬原料となるホソバオケラの栽培の種苗作り等、公設試験研究機関等と連携して研究活動を行うことで、さらなる成果に向けて、引き続き取り組んでいきます。

※牧野植物園ホームページ

<http://www.makino.or.jp/>

### 地球環境や風力発電の 出前事業

(公営企業局電気工水課)

#### ○概要

公営企業局は県内 3 ヶ所で、県営の環境にやさしい風力発電所を運営しています。この風力発電や地球環境に興味を持ってもらうことを目的に、職員が学校に出向く「風力エネルギー出前授業」を行っています。

授業では風力発電や環境問題についての話、児童・生徒がペットボトルを工作した羽根を実際に発電に使う実験、職員が考案した装置を使った風に関する実験などを行っています。

また、小中学校・特別支援学校の先生を対象とした研修会「考えてみよう 地球温暖化 作ってみよう 風車で電気」を、高知県立高知東工業高

等学校の先生と生徒さんのご協力をいただき、高知県教育センターとの共催講座として開催しています。

この研修会では、職員が編集した「風力エネルギーブックレット」を使った環境問題や風のエネルギー、風力発電の原理についての説明、出前授業でも行っているペットボトルを使った風車の羽根の製作、発電実験などを行っています。研修に参加された先生方にそれぞれの学校での授業で活かしてもらうことで、より多くの児童・生徒が興味を持ち、地球環境について考えるきっかけになればと取り組んでいます。

#### ■平成 23 年度実績

- ・出前授業（イベント時の参加は除く）  
計 12 回 431 名
- ・研修会（教育センター共催講座）  
1 回 10 名



出前授業の様子



研修会の様子

出前授業は県内全域を対象に実施しています。できるだけご希望の日程で調整させていただきますので、お気軽に声をかけてください。(風力発電所の「施設見学」と「出前授業」をセットにした実施も可能です。)

また、出前授業に利用するための教材（ブックレット）や実験材料の配布も行っています。

#### 【問い合わせ先】

高知県公営企業局電気工水課  
TEL:088(821)4624 FAX:088(821)4626



## 若者ECO応援団

(生涯学習課)

## ○現状と課題

高知県では、高校生や大学生等の若者が地域住民等と協働して取り組む自主的な環境保全活動があまり行われていません。環境問題の解決に向け、柔軟な発想と行動力を持つ若者の地域社会への参画が必要であると考えています。

## ○施策の展開

(実施した取組)

平成22年に実施した「全国生涯学習フォーラム高知大会」における「環境フォーラム」の関連事業として、「若者ECO応援団」を結成しました。

「若者ECO応援団」は、高校生や大学生等の次代を担う若者が地域の環境問題の解決に向け、自らが参画し、地域の人々と協働して環境保全活動を行う取組です。県内の高校や大学等からの論文応募により選出された各チームが、研修や合宿等を行いながら、独自のテーマで地域の環境保全活動に取り組みました。

【H22 若者ECO応援団】 10チーム・32名

【H23 若者ECO応援団】 8チーム・29名

学校名・[チーム名]・『地域活動テーマ』

- ①高知大学教育学部・[こじゃんとECO隊]  
『小学校におけるECO活動の取り組み  
～水環境学習プログラムの実践～』
  - ②高知工業高校・[高知工業高等学校生徒会]  
『潮江地区の住環境を考える～皿ヶ峰を守る～』
  - ③伊野商業高校・[チームOLI, OLI]  
『エコのバトンつなげよう』
  - ④四万十高校・[ECOの森]  
『ECO森レポート』
  - ⑤大方高校・[ECOベンチャーズ2]  
『継続は力なり  
～「クリエコ活動」を学校行事に～』
  - ⑥城山高校・[城山高校生徒会]  
『環境にやさしく住みやすいエコなまちづくり  
をする～防犯灯のあかりをLEDへ～』
  - ⑦嶺北高校 [嶺北エコGIRLS]  
『里山さんぽで世界を変えたい』
  - ⑧中芸高校・[中芸高校生徒会]  
『ecoの輪を広げるぜよ』
- <研修・合宿等>  
6月11日：講演・ECO応援団結成  
8月2日～4日：ECO応援団合宿研修（講演・フィールドワーク他）  
2月4日：地域活動報告会

## &lt;地域活動&gt;

各チームにより実施（通年）

【H24 若者ECO応援団】 5チーム・18名

- ①嶺北高校・[嶺北エコFLÜGELS]  
『嶺北を元気にしたい!』
- ②春野高校・[M<sup>3</sup>-ambiente]  
『あじさい街道復活』
- ③伊野商業高校・[チームオリオリ]  
『エコの輪広げよう!』
- ④大方高校, 幡多農業高校・[ACO (エコ)]  
『みんなで目指そうエコ街!』
- ⑤四万十高校・[SHIMANTO, S]  
『四万十川流域をきれいにする（清掃活動をして）』

## &lt;研修・合宿等&gt;

6月2日：講演・ECO応援団結成

8月1日～3日：ECO応援団合宿研修（講演・フィールドワーク他）

2月2日：地域活動報告会

## &lt;地域活動&gt;

各チームにより実施（通年）



若者ECO応援団会議



若者ECO応援団合宿研修

### 四万十川で環境について考える 若武者プロジェクト (高等学校課・四万十高校生)

#### ○概要

四万十高校は、平成11年から普通科に「自然環境コース」を設置し、四万十川の恵まれた自然環境を生かした環境教育に関する取組を積極的に行っています。

「屋久島研修」、「環境教育出前授業（小中学校対象）」、昔の生活体験をする「黒尊研修」など幅広く環境学習の活動を行ってきました。

その活動は県内外から注目され、地元の森林組合や大手文具メーカーとともに「結の森」を調査する「結の森妖精チーム」の事業などの実施によりその可能性は大きく広がっています。

また、総合的な学習の時間では「四万十概論」と銘打って、四万十川流域の文化や自然を中心に郷土の理解を深める学習を行っています。

平成18年度からは今までの取組に加え、高校生が独自に「四万十川の環境を考える若武者プロジェクト」を企画し、環境学習を通して得た環境に対する取組を地域や全国に発信しようとしています。

#### ○施策の展開

##### (実施した取組)

I 「四万十川の環境を考える若武者プロジェクト」  
(夏だ！キャンプだ！青春だ！)

##### (1) 目的

森川海のつながりや、自然と地域のつながりを知り、四万十川周辺の環境を考え行動する人材(若武者)となる。

##### (2) 主催

WZ F 若武者絶対増やす実行委員会  
実行委員長：四万十高等学校 普通科  
自然環境コース 2年生徒  
教員代表：四万十高等学校 環境教育部

##### (3) 開催日

平成23年8月23日(火)～24日(水)

##### (4) 開催場所

- ・四万十高校
- ・四万十川水系

##### (5) 参加

一般6名 四万十高校生15名  
講師4名 四万十高校教員5名 計30名

##### (6) 実施内容

- ① カヌー体験～川を体感する～
- ② 交流会(グループ協議)

- ③ 四万十川の環境についての学習会
- ④ 四万十の郷土料理体験
- ⑤ 共有会・アンケート



カヌー体験の様子



郷土料理体験の様子

##### II 「四万十川の環境を考える若武者プロジェクト」 (きれいな街づくり)

平成24年3月29日(木)に「WZ F 若武者を絶対増やす実行委員会」を中心に四万十町興津・小室の浜で清掃活動に取り組んだ。午後には聞き取り調査を実施し、地域が抱える問題について協議した。



清掃活動の様子

##### (実施しようとする取組)

平成24年度「四万十川の環境を考える若武者プロジェクト」-四万十川の始まりを見に行こう!!-フィールドワークを平成24年8月25日(土)に四万十川源流点で実施。